



「子どもを悪くする子育ての3つの方法」

校長 堀 智行

85日間の2学期が終了しました。2学期は順調に教育活動を進めてきましたが、学期末になりインフルエンザやマイコプラズマ肺炎等の感染症が流行し、5学級が閉鎖、全校児童のおよそ1割が何らかの感染症に罹患しました。今日現在も罹患している子もおり、一日も早い回復を願っています。まだ流行期にあり、十分な感染症対策をしながら、楽しく充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。

さて、今年は、小樽市内でも尊い小学生の命が事故や事件で失われ、先日も中学生が突然何者かに刺されるなど、全国的にも悲しく凶悪な事件が多くありました。特に、親による子どもへの虐待については、悲しく胸が痛くなります。なぜ、幼い命が最も身近で愛されるべき親から傷つけられたり、奪われたりしなければならないのか。中にはもの言えぬ赤ちゃんに対する虐待もあり、同じ子をもつ親の立場からもとても疑問です。

ネットで「子育て」と検索すると、「子育てが辛い。苦しい。」等の悩み相談がいっぱい出てきます。そもそも、子どもを育てることは簡単だとか、楽だと思っていたのでしょうか。我が子とは言葉、性格や能力が違うことが当たり前で、全くの別の人間と考えた方がいいのかもしれませんが。そこに、人が人を育てることの難しさがあって、思い通りにいかないのが当たり前なのです。しかし、ただ一つどの子にも当てはまるのは、自分の親が大好きで無償の愛を常に求めているということです。虐待されている子どもが、周りの人に言わないのは、「親に嫌われたくない。」「悪いのは自分だ。」と思うからだと言われています。そのことを考えると、なおさら親による虐待は悲しすぎます。

我が子が「いい子に育ててほしい」という思いは、全ての親の願いです。でも、なかなかうまくいかないのが「子育て」なのですが、悪くするのは簡単です。今回はあえて子どもが悪く育つ方法を三つ紹介します。

一つ目は、子どもの前で他人の悪口を言うことです。人間は、好きな人や尊敬する人からのみ文化伝統を受け継ぐことができるようにプログラミングされていて、子どもたちが身近に接している大人の関わり方次第で、嫌いと思う相手からは何も伝わらなくなるそうです。

二つ目は、良い話題より悪い話題へ関心を示すことです。大人がどんな話題に関心を示すかで子どもは話題を選ぶようになります。大人が楽しい話題が好きだと、子どもも楽しい出来事をたくさん記憶し、進んで話すようになります。このことが、子どもの心の中に「プラス思考」という素晴らしい力を育てます。反対に、大人が悪い話題の時に真剣に聞くような態度をすると、子どもは自分の受けた被害などの不幸な部分だけを話すようになります。この繰り返しは、時として子どもの性格をゆがめ、都合のいい作り話や嘘をつくことを平気とするような子どもを育ててしまうことにつながるそうです。

三つ目は、欲しいものを我慢させないことです。子どもが欲しがるものをすぐに与えるのは、子どもは大喜びですが、子どもの「我慢する心」を育てるせっかくの機会を逃してしまいます。同じ買い与えるにしても、我慢する時間を与えることで、「どうしたら買ってもらえるだろう。」「別なものにしようかな。」等、じっくり考え工夫することにつながります。我慢させた方が喜びも大きく、感謝の気持ちも強くなります。

一生の中で、子育てにかかる時間や労力はみな同じだと言われています。今必要な関わり方を省いていると、そのつけは取り返しのつかない不幸やより大きな苦労につながるかもしれません。

子育てに正解はありません。苦労も多いですが、我が子が夢を追いかけて、自立した大人に成長したときの喜びは、何ものにも代えがたい幸福をもたらすのではないのでしょうか。私は、そう信じています。

今年も残りわずかとなりました。振り返れば、元旦から能登半島地震が発生するなど、あまり良い年ではなかったかもしれません。この1年のご支援に感謝申し上げますとともに、良い年をお迎えになられることをご祈念いたします。



硝子制作体験

卒業する6年生にとって恒例イベントとなりました「硝子製作体験」が12月13日(金)に実施されました。

小樽市の6年生がふるさと小樽の産業の1つである「硝子工芸」について体験を通して学ぶことができる貴重な機会です。今年も思い思いの作品を作ることができたようです。6年生の保護者の皆さんは楽しみにお待ちしております。



いじめ防止 サミット

12月4日(水)に向陽中学校生徒会と奥沢小児童会が合同で『いじめ防止サミット』(いじめをなくすために何ができるかを子どもたちが話し合う会議)がオンラインで行われました。中学生6名と小学校5名が参加して、「よりよい、おもしろいってどういうことか?」「どうしたらいじめをふせげるのか?」という2つのことについて話し合いました。

1時間弱の短い時間でしたが、子どもたちなりにいじめをなくすためにはどうしたらよいかを真剣に考えて意見を交換していました。子どもたちが思い描いたようにみんながなかよく楽しく学校生活を送ることができる奥沢小や向陽中になるといいですね。



本の寄贈がありました

今年度、学校図書館に2家庭より35冊の本の寄贈がありました。

毎年学校図書予算の中で新しい本を購入しておりますが、児童数にあった蔵書数にはまだまだ到達しておりません。ご家庭にもう読まなくなった絵本、児童書等がありましたら、是非ご連絡ください。児童の学習や読書活動に生かしていきたいと思っております。

また、奥沢小では、瀬戸司書を中心に図書ボランティアの皆さんのご協力で図書館整備が進められています。子どもたちが本を手に取りやすい環境となっています。また、読み聞かせの取り組みも今年度からさかんになり、子どもたちの読書活動の推進が図られています。このような図書ボランティアの活動に興味がある方がいらっしゃいましたら、重ねてご連絡をお待ちしています。

寄贈された本の一部

- 「風になる」俵 万智 短歌
- いわさきちひろ 絵
- 「おぼけのはなし」
- 寺村 輝夫 作
- 「子ヤギの木」北村けんじ作
- ふりやかよこ 絵
- 「ダルマちゃんとキジムナ」
- 加古 里子 作
- 「マコチン」灰谷 健次郎 作
- 長 新太 画
- 「つつじのむすめ」
- 松谷みよこ 作



ありがとうございます!

- 27日(月) 放課後学習
- 28日(火) 5時間授業
- フッ化物洗口実施日
- スクールカウンセラー在校日
- 29日(水) 授業力向上推進教員来校日
- 30日(木) 全校一斉下校日
- 31日(金) スキー学習(天狗山・3, 4年生)
- 2年生学年レク

※12/24現在の予定です。今後変更の可能性もあります。



1月行事予定

- 1日~3日 学校閉庁日
- 8日~10日 小樽市書写展
- 8日(水) 冬休み学習・体力チャレンジタイム
- 9日(木) 冬休み学習・体力チャレンジタイム
- 13日(月) 成人の日
- 14日(火) 始業式 短縮3時間授業
- スクールカウンセラー在校日
- 17日(金) スキー学習(天狗山・5, 6年生)
- 20日(月) 放課後学習
- 21日(火) フッ化物洗口実施日
- 22日~26日 小樽市小中図工美術展
- 23日(木) スキー学習(グラウンド・3年生)
- 24日(金) スキー学習(天狗山・5, 6年生)